



へんしゅうぶれんらくさき
編集部連絡先

〒257-0025 秦野市落合 500

TEL 0463(81)1429 FAX 0463(83)4118

ホームページ

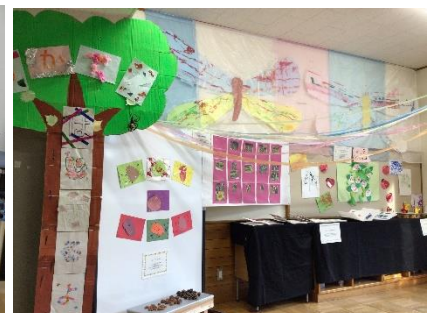
<http://www.hadano-sh.pen-kanagawa.ed.jp/>



今年度、「いぶき祭」は「いぶき祭週間」として設定されました。各部門課程の「いぶき祭週間」の取り組みを紹介いたします。

B

B課程では4月からの児童・生徒が真剣に学習に取り組む様子、達成感あふれた笑顔のワンシーン
を軽快な音楽に乗せて動画で発表しました。また、その学習の成果である作品展示も写真右のよう
に立派におこなうことができました。ま
た、各課程・学部の学習成果の発表
の見学（写真左）では、それぞれ素晴らしいものがあり、拍手や声援を送り
ながらの動画鑑賞になりました。毎日、
一歩一歩着実にこなう学習の大切さ
を発表できた一週間でした。



C

かもめ学級では、落合校舎での展示・動画発表に加えて、10月13日から1週間、神奈川リハビリ
テーション病院本館3階研修室前にも、図工・美術や書道の作品を展示しました。お花紙を使っ
た秋の木やぶどう、柿やサツマイモ、折り紙の多面体、月の満ち欠けのモビール、クマやウサギのドットシ
ールアートやいぶきちゃんの貼り絵、力強い毛筆作品など、それぞれのできることに、得意なことを活かし
たさまざまな作品が並びました。友だちが取り組む姿を見て、「自分もやってみよう！」と新たな作品作り
に挑戦する児童生徒もいました。

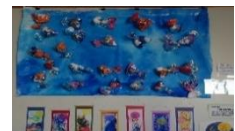
また、開閉会式や動画発表の時間に授業参加した児童生徒た
ちは、動画鑑賞だけでなく、他部門課程と感想を伝えあうことも
でき、行事の特別感を味わうことができました。閉会式に参加す
ることができた児童生徒は、「イロトリドリ」のダンスで盛り上がり
ました。



D

オンラインでおこなわれた開会式には、代表の生徒が参加しました。みんな「いぶき祭って、ど
んなことやるの？」と興味津々の顔でした。そして、D弘済として、それぞれのクラスごとに取組
んできたことや学習の様子などをまとめた映像を発表しました。自分達が発表したことに、別の部門の
友だちが感想を伝えてくれる場面がいつもと違う体験で、参加した児童生徒にとって、とても新鮮な時間
になったようでした。閉会式では、代表の生徒が緊張しながらも「楽しかったです！」といぶき祭の成果
発表を伝えることもできました。

作品展示では、日頃の学習で作成したさまざまな作品が並べられ、ふだんD弘済の学習を見る機会がも
てない方々にも披露することができました。いぶき祭を通して、芸術の秋を深められたのではないかと思
います。



E E高等部では、各学年が映像での発表をおこないました。また生徒会役員の生徒は夏休みに学校に集まり、いぶき祭に向けて動画の作成などの活動をしました。当日は開閉式式の進行を務め、学校全体を盛り上げてくれました。

作業班販売では、農園芸班の育てたサツマイモや里芋、ハンドメイド班の手芸製品、木工班のすのこ、マグネットなどの販売をしました。生徒が呼び込み、販売の準備、袋詰め、会計を協力しておこない、どの班のブースもとても賑わっていました。保護者の皆様、ご参観やご購入をしてくださりありがとうございました。



F F末広では、小低学年・小高学年・中学部に分かれていぶき祭の発表動画を作成しました。小低学年は、新聞紙を突き破る個性あふれた登場シーンから、日々取り組んでいる運動や勉強の様子を発表しました。小高学年は、児童がシェフになり、いぶき祭のお祝いにケーキを作るという内容で発表しました。中学部のテーマは「祭り」。華やかなサンバカーニバルや日本の和太鼓の力強い演奏、おそろいの衣装を着てのダンスなどを披露しました。動画では、毎日の学習で取り組んでいることを活かせる活動がたくさん取り入れられており、“良い発表にするぞ！”と子どもたちは連日撮影を頑張っていました。展示作品には、図工美術の作品や撮影の衣装などが飾られました。当日の進行や発表も子どもたちがおこない、テレビカメラの前に立って「見てください」「感想をお願いします」と伝えることができ、他部門課程の生徒から素敵な感想をいただきました。F末広の子どもたちも発表動画を嬉しそうに見て、いぶき祭を楽しむことができました。保護者の皆様、お忙しい中ご参観くださりありがとうございました。



G 今年度のG部門の発表動画では大人気ゲームを題材にした劇をつくりました。『ある日、平穏な日々を過ごしているG部門の児童生徒に大魔王が襲いかかり、高等部3年生の2名が捕まってしまう。捕らわれた3年生を救うべく、小学部、中学部、高等部の児童生徒が力を合わせて大魔王に与えられた課題に挑戦していく。』というストーリーとなっています。それぞれが挑戦していく課題には、日頃の授業や個別課題などでおこなっている活動を取り入れており、それぞれの児童生徒が活躍する様子をたくさんの方にみていただきました。動画を見た他部門課程の生徒から素敵な感想をいただき、G部門の児童生徒たちがとても喜んでいました。展示発表では、図工や美術の授業で制作した個性豊かな作品の数々が並びました。いぶき祭へのご協力やご参観ありがとうございました。



